

たった1週間でシステム環境を用意する！？ プロジェクトの立ち上げ担当者が 選ぶべき、最短・確実な手法とは

グローバル化、多様化する建設プロジェクト……
どこまでスピーディに対応できますか？



目次



資料概要 …… P 3

スピーディにプロジェクトを立ち上げるために …… P 4

24時間365日の運用体制が必要な理由 …… P 5

クラウド上にシステムを設置するメリット …… P 6

クラウドサービスを「利用する」という選択肢 …… P 7

CST PROJECT CLOUD™

プロジェクト管理に必要なすべてをオールインワンで提供 …… P 8

窓口は1つ、サポートは24時間365日 …… P 9

製品概要 CST PROJECT CLOUD™で利用可能なアプリケーション例 …… P 10

会社概要 …… P 12

お問い合わせ先 …… P 13



目まぐるしく変化する世界のビジネス状況の中で、建設業界も変革を強いられています。

プロジェクトは多様化し、今やグローバル化も当たり前となりました。従来の手法による自社でのプロジェクトのほか、スピーディな立ち上げが求められるジョイントベンチャー、システムの統一が難しいコンソーシアムプロジェクトなど、様々なタイプのプロジェクトが存在しています。多国籍の企業による協業も一般的となり、現場が扱うソフトウェアやインフラも実に多様化しています。

このような中で建設業のIT部門が行うべきことは、現場やビジネス部門からのあらゆる要請にスピーディに対応できるシステム基盤の構築です。

本ホワイトペーパーでは、新規プロジェクト立ち上げの成否を左右する「システム環境の構築」について、担当者が知っておくべきことをまとめました。後半では、わずか1週間の準備期間で250種もの専門ツールを利用開始できる新たなサービスについて紹介します。建設業のプロジェクトに関わるマネージャ、また経営者の皆様はぜひご一読ください。

スピーディにプロジェクトを立ち上げるために



新規プロジェクトの立ち上げにあたり、まずはシステム環境の構築が必要です。しかし、ビジネスの多様化にともない、現場が利用するソフトウェアの種類やライセンス形態は多岐に渡るものとなっています。このような中で、顧客や協業企業からのオーダーに適切に応えられるか、いかに素早く環境を構築できるかどうかということが、プロジェクトのスムーズな立ち上げを左右しています。

このフェーズで情報システム部門に求められるのは、スピーディな環境構築。確実にそれらが稼働する環境とユーザー教育を事前に行っておくことです。



プロジェクトのカットオーバーまでに情報システム部門が行うべきこと

- 環境構築と検証、ライセンス形態の確認
- 利用する拠点、現場へのシステム環境の展開
- ソフトウェアの操作などのユーザー教育

24時間365日の運用体制が必要な理由



多拠点プロジェクト、特に海外を含んだプロジェクトで問題になるのが運用です。こうしたケースでは、時差という「落とし穴」があることを考慮してください。運用担当者が時間外となりサポート対応できない事態に陥ると、拠点間で多大なタイムロスが生じる恐れがあります。

サポートには、全拠点を想定した窓口が必要です。プロジェクト規模が大きくグローバルな場合には、できれば24時間365日の窓口対応が必要です。

また、自社のクラウドなどでシステムを展開している場合には、メンテナンスのタイミングも十分に考慮する必要があるでしょう。多種多様なソフトウェアのサポート窓口がそれぞれどこになるのかユーザーにわかりやすく開示しておくことも、トラブル時の対応時間短縮につながります。



プロジェクトの運用で「落とし穴」にはまらないために……

- 全拠点をカバーする、時差を考慮したサポート対応を行う
- ソフトウェアごとにサポート窓口がどこなのかわかりやすく開示する

クラウド上にシステムを設置するメリット



自社のみで完結するプロジェクトならばまだしも、様々な企業が参画して行うジョイントベンチャーにおけるプロジェクトやコンソーシアムプロジェクトにおいて、システムをどこに設置するかも重要な検討ポイントになってきます。

自社の業務の根幹に関わる重要なシステムを、安易に社外の協業企業に開放できないといったケースも少なくないでしょう。しかし、スムーズなプロジェクトの遂行には、やはり共通の仕組みが必要です。そのために、1つのプロジェクト管理基盤をクラウド上に保有することは一考に値する手段です。

期間限定のプロジェクトなどにおいては、クラウド活用におけるコスト面でのメリットも大いに期待できます。



クラウド上にプロジェクト管理基盤を保有するメリット

- 多数のプロジェクト関係者が安心して共有できる仕組みの提供
- 規模や期間に見合った柔軟な利用形態によるコスト削減効果

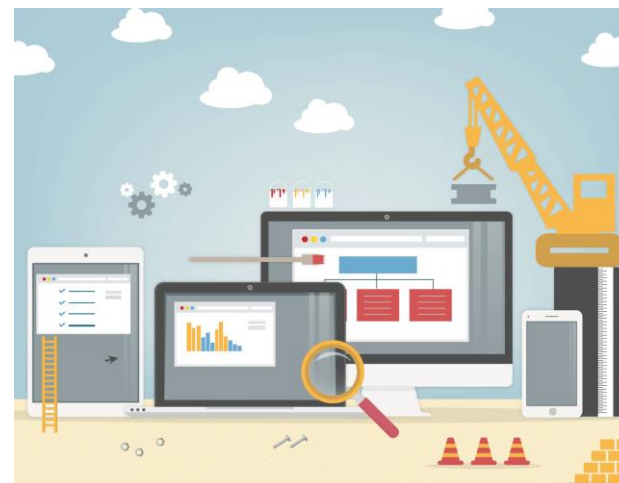
クラウドサービスを「利用する」という選択肢



「建設業の業務はほかの業界に比べて独自性が強く、あらゆるものが複雑。プロジェクト管理も現実的には一筋縄でいくものではない」

「自社で理想的な構築・運用を目指しても、結局は多大な手間がかかり実現しない——」
実際には、このような常識をお持ちの方も多いかもかもしれません。

そこで検討していただきたいのが、サービスとして提供されるプロジェクト管理基盤の利用です。千代田システムテクノロジーズの「CST PROJECT CLOUD™」は、プロジェクト管理業務を支援する「グローバル・パッケージシステム」をクラウド化し、環境構築、教育、ユーザーサポート、システム運用保守をワンストップで提供するサービスです。プロジェクトの開始時に、必要なインフラもソフトウェアも、社内の標準プラットフォームとしてそろえられるという、大きな強みを提供します。



CST PROJECT CLOUD™

プロジェクト管理に必要なすべてをオールインワンで提供



CST PROJECT CLOUD™は、建設業の業務で利用されるソフトウェアを網羅して提供しています。その数はなんとマルチベンダで250種類にも及び、1つのポータル画面から必要なソフトウェアを選択して利用できます。申し込んでから最短1週間で利用開始できるというスピード感も特長です。

→このポータル画面から、建設業に特化した250種類に上るソフトウェアを利用できます。

※既に自社で保有しているソフトウェアについては、この基板上に組み込むことも可能です。

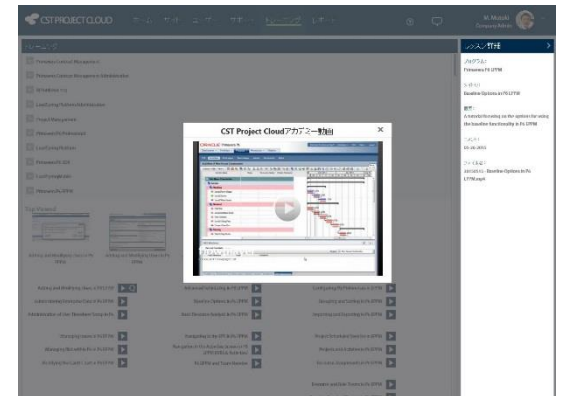
タイトル	開始日	終了日	Finish Variance	Approved Budget	Actual Cost	Forecasted Cost	SPI	SPI Trend	CPI	CPI Trend	Cost Variance	Productivity Factor	Percent Complete
San Diego Hotel				2,197,100	1,477,547	2,197,100	1.07		1.01		0	0.94	67.81%
London Apartment Complex				383,100	0	383,100	0.00		0.00		0	0.00	5.87%
XYZ火力発電所建設工事				0	0	0	0.00		0.00		0	0.00	0.00%
San Diego Stadium				715,000,000	23,808,406	715,801,065	0.64		0.57		-801,065	0.83	1.88%
Boston Plaza				1,250,000	1,643,297	1,250,000	3.36		0.76		0	1.00	99.60%



CST PROJECT CLOUD™は、サポート窓口を一本化しており、24時間365日体制で対応にあたります。これにより情報システム部門は、インフラの管理からもユーザーサポートからも解放されます。ユーザーはCST PROJECT CLOUD™にシングルサインオンすることで権限のある全ソフトウェアを利用できるので、ライセンス管理という面でも情報システム部門の負担は大きく軽減されることとなります。

期間限定かつ複数拠点のプロジェクトやマルチカンパニー・プロジェクトが多く、とかく環境が流動的になる建設業の現場ですが、インストールの必要なく、画面転送型で利用できる本サービスならば、端末側のスペックも過剰に要求されないため、インターネット回線さえあればどこでも利用できます。

建設業のシステム環境を維持する難しさは、プロジェクトに関わる方なら既にご存知のことと思います。変化し続けるビジネスに対応していくためにも、CST PROJECT CLOUD™のようなサービスを利用するのは非常に有効な手段の1つです。ぜひご検討ください。



↑サポートや動画によるユーザー教育もすべて同一ポータルを通じて提供します。

製品概要 CST PROJECT CLOUD™で利用可能なアプリケーション例



CST PROJECT CLOUD™は、プロジェクトで活用するグローバル・パッケージシステムをクラウド上で提供し、「環境構築」「教育」「ユーザーサポート」「システム運用保守」をワンストップで提供するサービスです。

アセット トラッキング&管理

- Austin Lane Production Tracking
- Austin Lane Reporting
- Austin Lane Time Tracking
- Azteca Cityworks
- HeavyJob
- Seavus Primavera Reader
- Maximo Asset Management
- Microsoft Azure AD Connect

BIM/CADアプリケーション

- Autodesk AutoCAD
- Autodesk Revit
- NavisWorks
- Oracle AutoVue
- Synchro
- Vico Office Suite

コスト管理/見積アプリケーション

- ARES PRISM
- B2W
- Causeway Estimating
- Cleopatra Enterprise
- Cloud EVM
- CostOS Estimating
- Deltek wInsight
- EcoSys
- EOS/Timberline
- eTakeoff Bridge
- eTakeoff Dimension
- HeavyBid
- InEight HD
- ISCO Flow Link
- On Center On Screen TakeOff
- ProPricer Estimator Edition
- Sage Estimating
- WinEst

GEO 地理空間情報アプリケーション

- Esri ArcGIS Desktop Basic, Standard and Advanced
- ArcGIS Server Basic, Standard and Advanced
- ArcGIS Portal for Server, Federated and Non-Federated
- ArcGIS Pro
- CityWorks
- geoAMPS
- Qcoherent LP360 for ArcGIS



プロジェクト管理/契約管理アプリケーション

- Assai
- Asta Powerproject Enterprise
- Audit Trail
- Bentley Projectwise
- Candy
- Causeway CATO
- Collabro Legare
- Deltek Professional
- Deltek | Acumen Fuse
- Deltek | OpenPlan
- Deltek | PM Compass
- Enterprise Microsoft Project
- ImageTool for Primavera
- InVizion Analyzer
- Integrated Management Concepts Cloud EVM
- Kidasa Milestones Pro 2012
- Knowledge Relay
- Lantern Data Systems
- Linear Projects TILOS
- Microsoft Access
- Microsoft Office Professional
- Microsoft SharePoint
- Microsoft SharePoint Server
- Microsoft Visio
- Microsoft Project Professional
- Monitor mpower
- Morpheus Technology Group Exchange
- Oracle | Directory Services
- Oracle | Primavera Analytics
- Oracle | Primavera Contract Mgmt Business Intel Publisher
- Oracle | Primavera P6 Enterprise Project Portfolio Mgmt
- Oracle | Primavera Portfolio Management
- Oracle | Primavera Progress Reporter
- Oracle | Primavera Risk Analysis
- Oracle | Primavera Team Member
- Oracle | Primavera Unifier
- Oracle Business Intelligence Publisher
- Oracle UPK Developer
- Oracle Web Center Content Management
- Oracle Instantis Enterprise Track
- Oracle Universal Content Management(UCM)
- OpenLM
- P6-Loader by Emerald Associates
- Palisade @RISK
- PIPELINE Syntempo®
- PM Web
- PRC Analysis
- PRC Enterprise Cost Risk
- PRC Enterprise Risk Register
- Pro Management Systems Contract Management PLUS
- Pro-Concepts Risk Radar
- Risk Decisions Predict
- Tableau
- Taps by Emerald Associates
- Trimble Meridian Proliance
- Trimble Meridian Prolog

会社概要



会社名	千代田システムテクノロジーズ株式会社（略称 CST）
代表取締役社長	中曽根 裕幸
所在地	〒221-0031 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル
設立年月日	1956年10月17日
議決権比率	千代田化工建設株式会社 100%
事業内容	<p>--- 計装・電気プロバイダーとして ---</p> <p>各種産業用・民生用設備並びに環境保全設備等、建築物、構造物等及び官公庁用設備に関する電気、計装・制御、情報通信等のエンジニアリング業務、工事、保全業務、ソフトウェア開発及び試運転等、その他これらに付帯する機器、資材調達。</p> <p>--- ITプロバイダーとして ---</p> <p>情報システムの運用に関する戦略的アウトソーシング受託 業務改革を含めた統合ITシステムのコンサルテーション 経営管理、業務管理系システムの開発・運用支援 エンジニアリング系システムの開発・運用の支援 プロジェクトマネジメントシステムの構築・導入・運用支援 プロジェクトマネジメント手法の研修事業 生産計画・生産管理システムの導入及び開発</p>

お問い合わせ先



本資料についてのお問い合わせや、「CST PROJECT CLOUD™」に関するご相談は
下記までご連絡ください。



千代田システムテクノロジーズ株式会社

〒221-0031

神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル

TEL : 045-441-1509 FAX : 045-441-1466

cst-epm-info@chiyodacorp.com

サービス詳細URL : <http://www.cst.chiyoda.co.jp/epm/products/cst-project-cloud.html>